



PARA ALPINE SKIING



ALPINE SKIING

©SAWGOC / PHOTO KISHIMOTO



BIATHLON

©SAWGOC / PHOTO KISHIMOTO



PARA BIATHLON

私たちが2030年大会招致を応援しています



2018年平昌オリンピック
女子ジャンプ銅メダリスト
高梨 沙羅 選手

まだ、私がジャンプを始めていない時、競技場で選手が飛んでいる姿を見ることがあってすごく心が動かされたのを覚えています。

そして私も同じようにかっこよく飛んでみたいという気持ちが芽生え、トップを目指して頑張るようになりました。

2030年に札幌でオリンピックが開催されればスキージャンプの人口も増えると思いますし、同じ競技に取り組む子どもたちの声援は現役のアスリートにとって、この上ない励みになります。

世界最高の大会が目の前で行われ、それが子どもたちの夢や希望につながっていく。そんな場面が増えたら、本当にうれしいと思います！

ぼくは、1998年の長野大会で夢だった金メダルを獲ることができましたが、振り返ってみると本当に幸せな選手生活を送れたと思っています。

自国開催ということで、会場全体から多くの声援をもらい「力をもらった」、「背中を押してもらった」という感覚が生まれたのを鮮明に覚えています。

そして、あれから約20年が経ちましたが、今でも多くの人の記憶に残してもらっていて本当にありがたいですし、もし札幌で冬季大会が開催されるのであれば、正直なところ「うらやましい」と感じます。

競技に励んでいるアスリートたちのためにも、ぜひ、2030年の大会を札幌で開催して欲しいと思います。



1998年長野オリンピック
男子スピードスケート500m金メダリスト
清水 宏保 さん

札幌市の冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する取組については
下記URLまたは右のQRコードからご覧ください

<https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/menu.html>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



令和3年(2021年)11月発行

編集・発行 札幌市スポーツ局招致推進部調整課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目 ORE札幌ビル9階

TEL.011-211-3042 FAX.011-211-3048



さっぽろ市
01-E02-21-1730
R3-1-145